

**豊田市議会市民フォーラム**

**「令和 6 年度に向けた政策要望」**

**に対する回答**



豊田市議会市民フォーラム「令和6年度に向けた政策要望」への回答

No.1

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
<p>【安心して暮らせるまちづくり】</p> <p>【要望内容】 水害対策の強化</p> <p>【具体的内容】 ①雨水ポンプ場の機能維持の取組</p> <p>【取り上げた理由】 ①下水道施設の機能維持のための耐水化対策に加え、ポンプ場機能保持のための耐震・老朽化対策を早期に実現する必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐水化対策については、「豊田市上下水道施設耐水化計画」に基づき、梅坪ポンプ場ほか2施設への防水扉の設置などを予定しており、令和6年度に詳細設計を実施していく。</li> <li>・中部第2ポンプ場については、「豊田市下水道総合地震対策計画」及び「豊田市下水道ストックマネジメント計画」に基づき、耐震対策及び老朽化対策を予定しており、令和6年度に詳細設計を実施していく。</li> <li>・その他の雨水ポンプ施設については「豊田市下水道ストックマネジメント計画」に基づき、修繕など老朽化対策を進めていく。</li> </ul> <p>(上下水道局 下水道施設課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐水化事業費（40百万円）</li> <li>・中部第2ポンプ場設計委託費（19百万円）</li> </ul>

豊田市議会市民フォーラム「令和6年度に向けた政策要望」への回答

No.2

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
<p>【安心して暮らせるまちづくり】</p> <p>【要望内容】 交通事故ゼロに向けた対策強化</p> <p>【具体的内容】 ①ゾーン30プラスの更なる推進</p> <p>【取り上げた理由】 ①生活道路の安全対策として、ゾーン30エリアに狭窄対策やハンプ等の物理デバイスを追加し、ゾーン30プラスを広めていく必要がある。</p>	<p>・上丘地区や永覚地区などへのゾーン30プラスの新規導入に向け、地域や警察との協議に基づき、狭窄対策やハンプ等の物理的デバイスの整備を進める。また、既設のゾーン30区域についても、ゾーン30プラスへの変更のため、物理的デバイスの整備を促進することで、安全な生活道路区域の拡大を図っていく。</p> <p>(地域振興部 交通安全防犯課)</p>	<p>・ゾーン30施設整備費 (4百万円)</p>

豊田市議会市民フォーラム「令和6年度に向けた政策要望」への回答

No.3

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
<p>【安心して暮らせるまちづくり】</p> <p>【要望内容】 市民を犯罪から守る防犯カメラの取組</p> <p>【具体的内容】 ①防犯カメラ設置の促進</p> <p>【取り上げた理由】 ①侵入や逃亡の経路となる主要幹線道路等の交差点への防犯カメラ設置と注意喚起看板設置を拡大し、犯罪者が近づき難いまちづくりを進める必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自治区等の防犯カメラの新設や機能維持が促進されるよう、新設、更新、移設に要する経費への補助制度を引き続き実施していく。</li> <li>・ 主要交差点への防犯カメラ設置については、令和5年度内に契約締結し、令和6年度中に運用を開始し、その効果を検証していく。</li> <li>・ また、主要交差点への防犯カメラの設置とあわせて、「防犯カメラ作動中」等の表示板を、明確に認識できる場所、大きさを設置をし、防犯カメラを強調することで犯罪の抑止を図っていく。</li> </ul> <p>(地域振興部 交通安全防犯課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防犯設備整備費補助金 (15百万円)</li> <li>・ 主要交差点防犯設備整備費 (14百万円)</li> <li>・ 事故防止対策費 (289百万円)</li> </ul>

豊田市議会市民フォーラム「令和6年度に向けた政策要望」への回答

No.4

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
<p>【安心して暮らせるまちづくり】</p> <p>【要望内容】 確実な避難に向けた取組</p> <p>【具体的内容】 ①マイ・タイムラインシートのデジタル化</p> <p>【取り上げた理由】 ①紙面のシートと併用して、市HP上でマイ・タイムラインシートの作成や修正を可能にし、アプリなど携帯端末へも転送することで日ごろから携帯している状態にすることが必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイ・タイムラインシートのデジタル化については、「緊急メールとよた」と「ヤフー防災速報アプリ」のシステム連携に合わせ、デジタル化に取り組んでいく。</li> <li>・具体的には、「ヤフー防災速報アプリ」は、「タイムライン作成機能」を有しているため、本機能を活用することで、費用をかけずに、携帯性の向上や作成した内容の確認及び修正が容易となる。</li> <li>・今後は、出前講座等において、スマートフォンの操作に慣れていらっしゃる方にはアプリを使用していただき、操作に不慣れな方は、今までどおり紙面により作成していただくなど、受講者のニーズに合わせて、アプリと紙面を併用することで、今まで以上に積極的に啓発をしていく。</li> </ul> <p>(地域振興部 防災対策課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災設備維持管理費 (22百万円)</li> </ul>

豊田市議会市民フォーラム「令和6年度に向けた政策要望」への回答

No.5

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
<p>【安心して暮らせるまちづくり】</p> <p>【要望内容】 水難救助体制の強化</p> <p>【具体的内容】 ①先端技術を活用した水難救助</p> <p>【取り上げた理由】 ①水難救助時の被災者捜索をいち早く開始すると同時に、危険性が不明な状況でも安全に行うために先進技術を活用した水中ドローンを採用し、消防隊員の安全も確保して救助を行う必要がある。</p>	<p>・水難救助活動においては、要救助者の捜索を効率的に行うため、消防用ドローンを使用するほか、愛知工業大学と連携した矢作川の水流調査により、新たに川底の調査を実施していく。</p> <p>・活動の効率化や潜水隊員の安全確保のため、水中ドローンの検証をダムや池などの静水域で行うなど、機器の能力や有効性の評価を進めていく。また、潜水器具などの水難救助資機材を更新していく。</p> <p>(消防本部 警防救急課、北消防署管理課)</p>	<p>・消防機械整備費（1百万円）</p> <p>・救助・警防活動費（うち、潜水器具など）（4百万円）</p>

豊田市議会市民フォーラム「令和6年度に向けた政策要望」への回答

No.6

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
<p>【安心して暮らせるまちづくり】</p> <p>【要望内容】 まちかど救急ステーションの機能維持</p> <p>【具体的内容】 ① A E D 消耗品の補充支援拡充</p> <p>【取り上げた理由】 ① A E D が必要な時に確実に使用できるように、定期的な点検と交換が必要なバッテリーやパッドに対するの補充支援拡大と、救命講習の拡充が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちかど救急ステーション登録事業者に対して、点検チェック表を郵送し、A E D の適切な維持管理を依頼していく。</li> <li>・補充支援の拡大について、バッテリーや各種消耗品は、基本的には設置事業者等が維持管理するものと考えているが、応急手当で使用されたA E D パッドは、補充していく。</li> <li>・応急手当ができる市民の増加に向け、音声メッセージだけではなく、画像表示により行動を指示するトレーニング用A E D 等の資機材を充実させるとともに、インストラクターを活用し、多様な受講者に対応した応急手当講習を開催する。 (消防本部 警防救急課、北・中・南・足助消防署管理課)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防活動企画運営費（うち、A E D パッド）（1百万円）</li> <li>・救急高度化推進費（うち、警防救急課分を除く）（7百万円）</li> </ul>

豊田市議会市民フォーラム「令和6年度に向けた政策要望」への回答

No.7

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
<p>【学び育むまちづくり】</p> <p>【要望内容】 保育環境の充実</p> <p>【具体的内容】 ①年度途中の待機児童解消に向けた取組</p> <p>【取り上げた理由】 ①0～2歳児における年度途中の待機児童解消に向けて、保育の受入枠拡大が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳児の受入れ枠拡大に向け、保育ニーズの高い地域において、新たな用地取得が必要なく、改修などが迅速かつ容易にできる園を選定し、検討を進めていく。</li> <li>・令和6年度は、幼稚園認可園を保育所認可園に移行するためにトヨタ、平山の工事を行い、令和7年度から2園で51人の受入れ枠拡大を図る。</li> <li>・上記2園に加えて、2園の設計を行い、更なる乳児の受入れ枠拡大の検討を行っていく。</li> </ul> <p>(こども・若者部 保育課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 諸営繕工事（200百万円）</li> <li>・ 備品等整備費（うち、初度備品購入費30百万円）</li> </ul>

豊田市議会市民フォーラム「令和6年度に向けた政策要望」への回答

No.8

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
<p>【学び育むまちづくり】</p> <p>【要望内容】 保育環境の充実</p> <p>【具体的内容】 ② 4・5歳児における保育士配置基準の見直し</p> <p>【取り上げた理由】 ② 担任1人当たりの幼児数が多い4・5歳児において、保育士配置基準を本市独自に改善し、保育の質向上を図る必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育士配置基準については、子どもたちの安全確保を始めとした保育の質の確保に加え、保育士の負担軽減につなげる必要があると考えている。</li> <li>・ 基準の見直しによる新たな待機児童の発生や保育士不足を招かぬよう、慎重に検討を進めていく。</li> </ul> <p>(こども・若者部 保育課)</p>	

豊田市議会市民フォーラム「令和6年度に向けた政策要望」への回答

No.9

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
<p>【学び育むまちづくり】</p> <p>【要望内容】 学びと運動の場の確保</p> <p>【具体的内容】 ①民間施設との連携</p> <p>【取り上げた理由】 ①フリースクールなど民間施設へ通学する児童生徒に対する補助制度と、こころの相談体制の構築が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校以外の居場所を利用する児童生徒やその保護者が求めている支援の把握、また、経済的な支援も含めた先進的な取組事例の収集などを通して、今後の支援の在り方について幅広く検討をしていく。</li> <li>・こころの相談体制として、スクールソーシャルワーカーを拠点校に配置し、相談しやすい体制を整えていく。</li> <li>・今後も児童生徒が学校外で安心して過ごせる居場所を確保し、地域等とのつながりの中で社会的自立を図ることを支援していく。</li> </ul> <p>(教育部 学校教育課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フリースクール等利用支援補助金（5百万円）</li> <li>・人件費（うち、スクールソーシャルワーカー）（99百万円）</li> </ul>

豊田市議会市民フォーラム「令和6年度に向けた政策要望」への回答

No.10

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
<p>【学び育むまちづくり】</p> <p>【要望内容】 学びと運動の場の確保</p> <p>【具体的内容】 ②教育ICTを活用したオンライン学習支援の創設</p> <p>【取り上げた理由】 ②不登校児童生徒に対して現在実施されている授業配信に加え、相談体制などの自立や居場所の確保に向けた包括的な支援機能の創設が必要である。</p>	<p>・オンラインを活用した支援については、市の現状を踏まえながら、教育支援センターであるパルクはあとラウンジを中心として、双方向のやりとりができるオンラインでの関わりなどについて検討を行う。 (教育部 学校教育課)</p>	<p>・いじめ不登校問題対策費 (45百万円)</p>

豊田市議会市民フォーラム「令和6年度に向けた政策要望」への回答

No.11

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
<p>【学び育むまちづくり】</p> <p>【要望内容】 学びと運動の場の確保</p> <p>【具体的内容】 ③地域部活動における登録制人材バンクと報酬制度の構築</p> <p>【取り上げた理由】 ③各中学校の地域部活動指導者不足を補うための登録制人材バンクと、指導員に対する報酬制度の構築が必要である。</p>	<p>・指導者を確保する人材バンク機能は、現在愛知県が令和6年度の運用開始に向けて準備を進めており、その動向を注視する中で、県の制度と連携して進めるか、市独自で新たな機能を設けるのかを検討していく。</p> <p>・また、指導員に対する報酬については、継続的な取組としていくためにも、その制度等について今後、「豊田市こどものスポーツ・文化活動等に関する協議会」等で議論していく。 (教育部 学校教育課、生涯活躍部 スポーツ振興課、文化振興課)</p>	<p>・部活動の地域移行事業費 (115百万円)</p>

豊田市議会市民フォーラム「令和6年度に向けた政策要望」への回答

No.12

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
<p>【学び育むまちづくり】</p> <p>【要望内容】 学校の暑さ対策</p> <p>【具体的内容】 ①室内運動場等へ空調設備の設置</p> <p>【取り上げた理由】 ①現在、調査をしている暑さ対策を早急に進め、市内小中学校全校の室内運動場等に空調設備を設置する必要がある。</p>	<p>・学校体育館・武道場への空調設備設置については、早急な対応が必要と考えており、公共施設への太陽光発電設備の設置などカーボンニュートラルへの対応と合わせて実施していく。 (教育部 学校づくり推進課、環境部 環境政策課)</p>	<p>・体育館等暑さ対策費 (3,920百万円) ・公共施設太陽光発電設備設置費 (5百万円)</p>

豊田市議会市民フォーラム「令和6年度に向けた政策要望」への回答

No.13

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
<p>【学び育むまちづくり】</p> <p>【要望内容】 子どもの居場所づくりへの取組</p> <p>【具体的内容】 ①子ども食堂の運営への支援</p> <p>【取り上げた理由】 ①子ども食堂の持続的な運営に向け、食材等を安定して子ども食堂へ届けられるよう、食材の保管拠点を含めた団体に対して支援をするしくみづくりが必要である。</p>	<p>・食料の保管拠点については、県が「あいち子ども食堂応援ステーション」として認定、支援を行っており、市内には3か所の拠点がある。子ども食堂の安定的な運営のため、拠点の役割を考えながら、県との連携が必要であるため県の動向を注視しつつ、情報共有を図っていく。 (福祉部 よりそい支援課)</p>	<p>・多機関協働費（53百万円） ・子ども食堂安全確保費補助金（1百万円）</p>

豊田市議会市民フォーラム「令和6年度に向けた政策要望」への回答

No.14

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
<p>【くらしを支えるまちづくり】</p> <p>【要望内容】 市有財産の戦略的利活用</p> <p>【具体的内容】 ①未利用財産の積極的利活用</p> <p>【取り上げた理由】 ①未利用財産をHP や SNS 等により広く市民に公表し、アイデアを募るしくみを構築して未利用財産の有効活用につなげることが必要である。</p>	<p>・民間活力の導入は、「未利用財産戦略的利活用指針」（令和5年度改定）に位置付けており、令和6年度から地域利用などの潜在的ニーズの掘り起こしや活用アイデアの募集に適した物件については、公式ホームページやSNS等で積極的に情報発信していく。</p> <p>（総務部 財産管理課）</p>	<p>・財産管理費（20百万円）</p>

豊田市議会市民フォーラム「令和6年度に向けた政策要望」への回答

No.15

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
<p>【くらしを支えるまちづくり】</p> <p>【要望内容】 DXの推進</p> <p>【具体的内容】 ①データ連携基盤構築に向けた取組</p> <p>【取り上げた理由】 ①DXの推進に向け、国が推奨する都市OSの活用などデータ連携による更なる市民サービスの向上に向けた検討が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国が推奨する都市OSは、市民サービスの向上に向け、重要な基盤になると認識している。そのために、まずはオープンデータの拡充に取り組んでいく。</li> <li>・なお、オープンデータの拡充は、令和4年度に改定したオープンデータガイドラインに基づき、令和5年度・6年度のDX取組方針に位置付けて取り組んでいる。</li> <li>・都市OSについては、令和5年度の総務省の都市OS構築検討支援と、新たに採用したCDO補佐官からの助言等を踏まえて、令和6年度は、データ連携基盤を構築する際の在り方や方向性について引き続き研究・検討していく。</li> </ul> <p>(総務部 情報戦略課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代通信網・データ活用推進費（23百万円）</li> </ul>

豊田市議会市民フォーラム「令和6年度に向けた政策要望」への回答

No.16

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
<p>【くらしを支えるまちづくり】</p> <p>【要望内容】 DXの推進</p> <p>【具体的内容】 ②スマート窓口システムの拡大</p> <p>【取り上げた理由】 ②市民サービスの更なる向上のため、デジタル庁が示す自治体窓口DX SaaS等の利用も含め様々検討し、より良いスマート窓口サービスを早期に拡大する必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民部、福祉部、こども・若者部による「窓口改革ワーキンググループ」を設置し、デジタル庁が示す自治体窓口DX SaaSの活用も含め、窓口等のスマート化に向けて具体策の検討を進めている。</li> <li>・令和6年度も、引き続きスマート窓口の構築・拡大に向けて、「書かない・待たない」の観点で、実証等の取組を検討していく。</li> </ul> <p>(総務部 情報戦略課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル化・スマート化推進費 (206百万円)</li> </ul>

豊田市議会市民フォーラム「令和6年度に向けた政策要望」への回答

No.17

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
<p>【くらしを支えるまちづくり】</p> <p>【要望内容】 食材の安定供給への取組</p> <p>【具体的内容】 ①卸売市場の再整備</p> <p>【取り上げた理由】 ①食の安全安心につながる最先端の機能やシステムを取り入れた施設の再整備を図るとともに、収益性の確保に向けては敷地の余剰地を民間活用するなど市場運営の安定と活性化への取組が必要である。</p>	<p>・再整備を含めた豊田市公設地方卸売市場の在り方に関する方針を早期に決定し、関係者との情報共有など必要な対応を進めていく。 (産業部 農政企画課)</p>	<p>・施設整備費 (令和7年度債務負担行為 30百万円)</p>

豊田市議会市民フォーラム「令和6年度に向けた政策要望」への回答

No.18

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
<p>【くらしを支えるまちづくり】</p> <p>【要望内容】 地域における移動支援の取組</p> <p>【具体的内容】 ①地域による生活交通検討への支援</p> <p>【取り上げた理由】 ①変化する各地域の生活交通ニーズに対して、市が行って来た実証実験の結果を基に、新たな生活交通案を提示するなど、その地域に合った移動手段が構築できるよう、地域に寄り添った取組が必要である。</p>	<p>・地域内における移動手段の確保については、「自助・共助・公助」による多様な移動手段を組み合わせ、持続可能な移動サービスを実現していくことが重要である。</p> <p>・各地域で移動先などのニーズが異なることから、まずは地域が主体となった勉強会等を通じて高齢者等の移動ニーズを把握することに努め、市も住民共助による取組への支援を拡充するなど、生活交通のニーズに合わせた取組を行っていく。 (都市整備部 交通政策課)</p>	<p>・住民共助交通推進費 (3百万円)</p> <p>・地域交通調査等支援事業費補助金(1百万円)</p> <p>・共助タクシー運行支援事業費補助金(1百万円)</p> <p>・住民共助輸送支援事業費補助金(1百万円)</p>

豊田市議会市民フォーラム「令和6年度に向けた政策要望」への回答

No.19

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
<p>【くらしを支えるまちづくり】</p> <p>【要望内容】 地域における移動支援の取組</p> <p>【具体的内容】 ②地域バス・地域タクシーへの電子決済サービス導入</p> <p>【取り上げた理由】 ②移動の利便性向上や地域の課題解決、また快適な観光に資する公共交通の実現に向け、地域バス・地域タクシーへの電子決済サービスを導入しシームレスな公共インフラ環境への取組が必要である。</p>	<p>・地域バス・地域タクシーへの電子決済サービスの導入については、おいでんバスで導入しているICカードの更新時期等も見据えながら、様々な決済システムについて調査研究を進めている。</p> <p>・持続可能な公共交通の実現に向けて、利便性の向上を図り、利用促進に取り組んでいく。 (都市整備部 交通政策課)</p>	

豊田市議会市民フォーラム「令和6年度に向けた政策要望」への回答

No.20

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
<p>【くらしを支えるまちづくり】</p> <p>【要望内容】 持続的な産業の発展</p> <p>【具体的内容】 ①新たな産業立地候補地の選定</p> <p>【取り上げた理由】 ①南北バイパスの完成による道路網を活用した産業立地候補地の選定を進め、道路の完成と同時に企業ニーズにタイムリーに産業用地を提供できる整備に着手することで、都市の発展につなげることが必要である。</p>	<p>・第9次総合計画における将来都市構造の策定に合わせて、インターチェンジや南北バイパスを含む幹線道路網など都市基盤施設の活用を踏まえた産業用地の候補地や事業者ニーズにより異なる産業用地の位置、規模に応じた整備手法について検討を進めていく。 (企画政策部 都市計画課、産業部 産業労働課)</p>	<p>・土地利用構想調査費 (12百万円) ・産業誘致活動費 (29百万円)</p>

豊田市議会市民フォーラム「令和6年度に向けた政策要望」への回答

No.21

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
<p>【くらしを支えるまちづくり】</p> <p>【要望内容】 持続的な産業の発展</p> <p>【具体的内容】 ②企業の事業拡大を図る次世代産業の誘致</p> <p>【取り上げた理由】 ②第4次産業革命や電動化を始めとするCASEへの急速な潮流を踏まえ、市内企業の事業拡大につながる次世代産業分野の企業誘致を強化し、戦略的な産業政策を進めることが必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊田市産業振興プラン2021～2024において、次世代モビリティ分野やIT・次世代ロボット分野などを重点産業分野に位置付け、同分野の市内への投資を促進していく。</li> <li>・企業立地奨励金制度にて、同分野に該当する事業者が市内に新たに事業所を設置する場合、補助金を倍額交付することで、誘致を図っていく。</li> <li>・また、次期産業振興プランの検討に合わせて、重点産業分野を見直すなど、次世代産業分野の企業誘致の強化に資する産業施策について検討していく。</li> </ul> <p>(産業部 産業労働課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業立地奨励補助金 (1,140百万円)</li> </ul>

豊田市議会市民フォーラム「令和6年度に向けた政策要望」への回答

No.22

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
<p>【くらしを支えるまちづくり】</p> <p>【要望内容】 行政業務の効率化</p> <p>【具体的内容】 ①新技術による道路関連の点検一元化</p> <p>【取り上げた理由】 ①各所管課が個々に行っている道路に係るすべての各種点検の一元化を目指し、情報を収集できるデジタル技術とAI解析技術の活用により、官民が連携し業務改革に取り組むことが必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度から舗装の損傷をリアルタイムに把握するシステムを導入し、ドライブレコーダーの画像を基にAI解析で抽出された舗装の損傷箇所について、迅速な修繕を行っている。</li> <li>・今後も新技術の活用を推進するとともに、一元化に向けては道路施設情報(点検修繕情報含む)のデータベース化を進め、維持管理業務の効率化に向けて取り組んでいく。</li> </ul> <p>(建設部 道路維持課、道路予防保全課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路修繕費 (2,109百万円)</li> <li>・橋りょう修繕費 (321百万円)</li> </ul>

豊田市議会市民フォーラム「令和6年度に向けた政策要望」への回答

No.23

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
<p>【くらしを支えるまちづくり】</p> <p>【要望内容】 歳入確保に向けた取組</p> <p>【具体的内容】 ①ふるさと納税の推進</p> <p>【取り上げた理由】 ①ふるさと納税の歳入確保に向け、本市に来訪された方がまちなかで気軽に納税していただけるよう、QRコードを活用した申請の導入などの取組が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと寄附金制度については、本市地場産品や本市への来訪型のサービスを市外からの寄附者に返礼品として提供することで、本市の魅力在全国に発信するツールであると捉えている。</li> <li>・QRコード等を活用した現地決済型の返礼サービスについては、令和5年10月から適用された総務省の改正通知により対象店舗が大幅に限定されることになったため、本返礼サービス導入の効果、運用方法等を精査するとともに、動向を注視していく。また、現地決済型の返礼サービス以外にも、新たな返礼品の拡充に引き続き努めていく。 (企画政策部 企画課、財政課)</li> <li>・QRコード等を活用した現地決済型の返礼サービスは、観光客が決済後すぐにサービスを受けられ、市内の消費喚起につながる可能性があるため、導入効果や運用方法等を研究していく。 (産業部 商業観光課)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと寄附金推進費 (200百万円)</li> </ul>

豊田市議会市民フォーラム「令和6年度に向けた政策要望」への回答

No.24

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
<p>【くらしを支えるまちづくり】</p> <p>【要望内容】 カーボンニュートラルの推進</p> <p>【具体的内容】 ①カーボンニュートラルを通じた中小企業の持続的発展</p> <p>【取り上げた理由】 ①カーボンニュートラルをビジネスチャンスへとつながる研究開発を支援するとともに、中小企業のS B T取得による企業価値向上を促し、企業の存続や新規事業を通じ、本市の持続可能な発展につなげていくことが必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究開発の支援については、新製品・新技術の開発等に対する補助制度により、環境エネルギー分野には補助額を上乗せしているほか、技術開発や補助金活用セミナー等を実施するなど既存支援制度の更なる活用を促し、企業の成長を後押ししていく。</li> <li>・ S B T取得に関心のある事業者に対しては、カーボンニュートラル相談窓口やコンサルティング支援において、相談等に対応していく。</li> <li>・ また、脱炭素スクールにおいては、参加企業が脱炭素経営を学ぶ中で、S B Tの意義を伝えるとともに、取得に向けた支援等を行っていく。 (産業部 産業労働課、次世代産業課、環境部 環境政策課)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業立地奨励補助金 (1, 140百万円)</li> <li>・ ものづくり創造補助金 (21百万円)</li> <li>・ カーボンニュートラル取組拡大支援費(10百万円)</li> <li>・ 地球温暖化防止対策関連費(脱炭素スクール運営業務委託費) (3百万円)</li> </ul>

豊田市議会市民フォーラム「令和6年度に向けた政策要望」への回答

No.25

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
<p>【くらしを支えるまちづくり】</p> <p>【要望内容】 カーボンニュートラルの推進</p> <p>【具体的内容】 ②次世代エネルギー活用による 市民意識の拡大</p> <p>【取り上げた理由】 ②CO2発生を抑制できる燃料電池車など次世代エネルギーを活用したイベント開催を拡大し、より多くの人にカーボンニュートラルへの取組の見せる化を図ることが必要である。</p>	<p>・環境に優しく、災害時の非常用電源として活用できる外部給電機能を備えた次世代自動車の普及拡大に向けた取組として「SAKURAプロジェクト」を展開しており、引き続き、地域の祭りや防災イベント等で、燃料電池車の展示や電源としての活用をしていくことで、カーボンニュートラルに向けた取組の見せる化を行っていく。 (環境部 環境政策課)</p> <p>・「豊田市つながる社会実証推進協議会」等のプラットフォームを活用し、関係企業との連携によるエネルギーの地産地消や先進移動技術実証等の取組の見せる化を図っていく。 (企画政策部 未来都市推進課)</p>	<p>・次世代自動車普及促進費 (1百万円)</p> <p>・次世代社会システム実証推進費 (158百万円)</p>

豊田市議会市民フォーラム「令和6年度に向けた政策要望」への回答

No.26

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
<p>【くらしを支えるまちづくり】</p> <p>【要望内容】 カーボンニュートラルの推進</p> <p>【具体的内容】 ③太陽光発電及び蓄電池設備共同購入事業の再開</p> <p>【取り上げた理由】 ③令和4年度に実施した共同購入の検証結果を踏まえ、市内企業の参入促進や情報が届いていない市民に向け再募集を行い、市民レベルでのカーボンニュートラルの取組につなげる必要がある。</p>	<p>・令和4年度に実施した共同購入事業では、704世帯が参加登録を行い、75件の世帯が実際に導入に至ったことから、民生部門における脱炭素化に対して一定の成果があった。一方で、短期間で多くの家庭の現地調査や施工を必要とする事業スキームについては市内事業者が参入しにくいといった課題があることから、状況を注視するとともに、現状においては、補助金事業を継続することで、太陽光発電や蓄電池の普及を図っていく。</p> <p>(環境部 環境政策課)</p>	<p>・家庭用蓄電池設置費補助金 (36百万円)</p> <p>・スマートハウス普及促進費 (1百万円)</p> <p>・スマートハウス化設備設置費等補助金(43百万円)</p>

豊田市議会市民フォーラム「令和6年度に向けた政策要望」への回答

No.27

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
<p>【共に支えあうまちづくり】</p> <p>【要望内容】 高齢者の孤独・孤立対策への取組</p> <p>【具体的内容】 ①アウトリーチ型支援体制の強化</p> <p>【取り上げた理由】 ①まだ把握できていない独居高齢者の早期発見・早期対応に向け、民生委員以外でのアウトリーチ型支援を強化するなど、体制を構築することが必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 独居高齢者においては、「ひとり暮らし高齢者等登録制度」の活用を進め、家庭訪問だけでなく電話や手紙等様々なアウトリーチ支援を実施し、課題のある世帯の状況把握と早期支援につなげていく。また、支援が困難な事例に対し、重層的支援体制推進事業の多機関協働事業や権利擁護支援等を活用し、地域包括支援センター等の支援機関と連携しアウトリーチ等の支援を行っていく。 (福祉部 よりそい支援課)</li> <li>・ 高齢者の見守りに協力してくれる民間事業者等を協力機関として登録する「豊田市ささえあいネット～高齢者見守りほっとライン～」事業に取り組んでいる。</li> <li>・ 協力機関等からの情報提供により地域包括支援センターが訪問することで独居高齢者の異変の早期発見、早期対応につながるケースがあるため、民間事業者等に対して協力機関への登録を勧奨し、地域の支え合いによる見守り体制の強化を進めていく。 (福祉部 高齢福祉課)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多機関協働費（53百万円）</li> </ul>

豊田市議会市民フォーラム「令和6年度に向けた政策要望」への回答

No.28

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
<p>【共に支えあうまちづくり】</p> <p>【要望内容】 子ども医療の充実</p> <p>【具体的内容】 ①高校生医療費の無償化</p> <p>【取り上げた理由】 ①経済的な理由で子どもを通院させることができないなどの問題に対して、現在の高校生の入院費助成に加え、通院費も含めた高校生までの医療費無償化を進める必要がある。</p>	<p>・令和6年4月1日から通院に係る子ども医療費助成の対象者を高校生世代までに拡大し、中学校卒業後の子どもの通院に係る経済的な負担による受診控えを防ぎ、病気の早期発見や早期治療による子どもの健全な育成を図っていく。 (福祉部 福祉医療課)</p>	<p>・子ども医療助成費 (2,622百万円)</p>

豊田市議会市民フォーラム「令和6年度に向けた政策要望」への回答

No.29

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
<p>【共に支えあうまちづくり】</p> <p>【要望内容】 子ども医療の充実</p> <p>【具体的内容】 ②児童精神医療機関体制の強化</p> <p>【取り上げた理由】 ②診療までに時間を有している児童精神患者に対して、早期に対応ができるよう児童精神医の確保など、のぞみ診療所の児童精神医療体制を更に強化することが必要である。</p>	<p>・のぞみ診療所の診療体制の強化に向けて、発達障がい専門医養成機関である大学に働きかけを行うなど、常勤医師の充足に取り組んでいく。</p> <p>・また、早期の診療が必要と判断される場合には、優先的に受診できるように配慮するほか、外来療育での保護者支援、電話や面接による発達相談、こども園等への巡回訪問による地域支援など、切れ目のない支援体制で対応を行っていく。</p> <p>(福祉部 障がい福祉課)</p>	<p>・福祉事業団運営費補助金 (1, 429百万円)</p>

豊田市議会市民フォーラム「令和6年度に向けた政策要望」への回答

No.30

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
<p>【共に支えあうまちづくり】</p> <p>【要望内容】 介護事業所への組織体制強化の促進</p> <p>【具体的内容】 ①介護事業所における業務改善の取組</p> <p>【取り上げた理由】 ①限られたリソースでも介護サービスの確保や適切な業務が遂行できるよう、業務改善の知識と経験を有するアドバイザーを派遣し、人材育成を進めるなど、組織体制の強化を図る必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護サービス事業所のリーダー層に対する介護人材支援基礎研修を実施し、人材の確保、定着、育成において取り組むべき課題を明確化する。</li> <li>・介護業界に精通した社会保険労務士等のコーディネーターを派遣し、介護サービス事業所における就業規則や人事評価制度の改善、子連れ出勤マニュアルの策定など職場改善の取組を支援し、人材の確保、定着、育成につなげていく。</li> </ul> <p>(福祉部 介護保険課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護人材確保事業費 (17百万円)</li> </ul>

豊田市議会市民フォーラム「令和6年度に向けた政策要望」への回答

No.31

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
<p>【共に支えあうまちづくり】</p> <p>【要望内容】 次世代モビリティの普及促進</p> <p>【具体的内容】 ①次世代モビリティの更なる活用</p> <p>【取り上げた理由】 ①市域全体での活用を目指して、まずは美術館や商業施設などに拠点となるステーションの拡大が必要である。</p>	<p>・令和5年度に引き続き、立ち乗り型歩行領域B E Vを活用したシェアリング事業を実施し、市内での貸出拠点の拡充や施設内での駐車や活用も視野に、誰もが楽しく快適に移動できる社会の実現を図る。</p> <p>(企画政策部 未来都市推進課)</p>	<p>・先進技術等移動支援事業費（まちモビ業務委託費） （13百万円）</p>

豊田市議会市民フォーラム「令和6年度に向けた政策要望」への回答

No.32

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
<p>【共に支えあうまちづくり】</p> <p>【要望内容】 SDGsの目標達成に向けた取組</p> <p>【具体的内容】 ①SDGsの見せる化推進</p> <p>【取り上げた理由】 ①博物館への常設や企画展に合わせたSDGsの取組と目指す姿がVRで見られるなど、そのイベント等に応じた世代にターゲットを絞り、より多くの方がSDGsに興味を持ち理解できる取組が必要である。</p>	<p>・博物館の展示替えのタイミング等と合わせ、映像なども活用し、市及び企業のSDGs達成に向けた取組や先端技術に関する展示を随時更新することで、より多くの来館者がSDGsや市の取組等に対して興味を持ち、理解できるような仕掛けづくりを行う。 (企画政策部 未来都市推進課)</p>	<p>・SDGs推進費（27百万円）</p>

豊田市議会市民フォーラム「令和6年度に向けた政策要望」への回答

No.33

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
<p>【共に支えあうまちづくり】</p> <p>【要望内容】 SDGsの目標達成に向けた取組</p> <p>【具体的内容】 ②太陽光パネルリサイクルのしくみ構築</p> <p>【取り上げた理由】 ②将来的に太陽光パネルの廃棄量の増加が予想されるなか、リサイクルにつなげるよう、県と連携した回収・運搬・リサイクルを一連の流れとするしくみづくりが必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市は、新たな太陽光パネルの義務的リサイクル制度の構築や、民間事業者等によるリユースの促進、リサイクル技術の確立等に向けた予算確保などについて、全国の自治体と連携して国に要望書を提出したところである。</li> <li>・現在、国・県では、太陽光パネルの製造からリユース、リサイクル・廃棄処理まで、ライフサイクル全体の関係者と、適切に処理できる枠組の構築を進めており、愛知県では、令和8年度までの事業化を目指している。</li> <li>・このように、使用済太陽光パネルの資源循環に向けた取組が大きく動いていることから、国、県、業界団体などの動向を確認しつつ、将来に向けて、市内から排出された使用済太陽光パネルの適正処理が進むよう、対応については総合的に判断していく。</li> </ul> <p>(環境部 廃棄物対策課)</p>	

豊田市議会市民フォーラム「令和6年度に向けた政策要望」への回答

No.34

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
<p>【共に支えあうまちづくり】</p> <p>【要望内容】 自動運転の実現に向けた取組</p> <p>【具体的内容】 ①レベル4自動運転の運行に向けた取組</p> <p>【取り上げた理由】 ①自動運転の実用化に向け民間企業との調整を行い、既存の施設が活用できるフィールドを提供し実証を行うなど、実装に向けた取組が必要である。</p>	<p>・国が推進する「2025年までにレベル4を40地域で実現」の方針に基づき、令和5年度に実施した実証実験の評価を踏まえながら、関係企業等と連携し、適材適所での自動運転実証を実施する。これにより将来的な市内各所での自動運転の実装化を目指す。 (企画政策部 未来都市推進課)</p>	<p>・先進技術等移動支援事業費（うち自動走行実証等推進費） (194百万円)</p>

豊田市議会市民フォーラム「令和6年度に向けた政策要望」への回答

No.35

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
<p>【魅力を共感するまちづくり】</p> <p>【要望内容】 ラリーをまちづくりに生かす取組</p> <p>【具体的内容】 ①令和8年以降のWRC継続開催に向けた取組</p> <p>【取り上げた理由】 ①令和7年まで本市での開催が決定しているWRCについて、令和8年以降の継続開催を目指して誘致活動に取り組む必要がある。</p>	<p>・ラリーファンの裾野拡大に向けた取組を継続的に行っているところであるが、令和8年以降の継続開催については、令和5年の大会を適切に評価し、関係団体と調整を図りながら今後の方向性について検討を進めていく。 (生涯活躍部 ラリーまちづくり推進課)</p>	

豊田市議会市民フォーラム「令和6年度に向けた政策要望」への回答

No.36

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
<p>【魅力を共感するまちづくり】</p> <p>【要望内容】 ラリーをまちづくりに生かす取組</p> <p>【具体的内容】 ②ラリーを生かしたイベント開催の拡大</p> <p>【取り上げた理由】 ②教育機関や地域と連携し、ラリーに関連したイベント開催を拡大する必要がある。</p>	<p>・世界ラリー選手権の開催を通じたまちづくりをより一層推進していくため、これまで取り組んできた児童生徒を対象としたラリー教室を開催するほか、市内イベントや市民団体と連携を図りながら、より充実した世界ラリー選手権のプロモーション活動を展開し、気運醸成を図っていく。 (生涯活躍部 ラリーまちづくり推進課)</p>	<p>・世界ラリー選手権開催推進費 (603百万円)</p>